



花むぐり（１９７４年）
木版画家 池田修三



夢あるまち 豊かなまち 元気なまち 住みたいまち にかほ

に か ほ 市

生涯学習・社会教育計画

【令和5年度～9年度】

にかほ市教育委員会

は じ め に

にかほ市教育委員会
教育長 齋 藤 光 正



「玉磨かざれば器とならず、人学ばざれば道を知らず」という言葉があります。この言葉は、中国の五経の一つである「礼記（らいき）」の一節であります。この言葉は、

- ・人は学ぶことによって知識や知恵を身につけていくことができる。
 - ・この社会の中でどのように生きていけばよいのか、人間としてどのように生きたらよいかというようなことについて開眼してくれる。
- と教えてくれております。

そして、ダイヤモンドも磨くことによってさらに輝きを増すように、人も学ぶことによって、自分をさらに磨き、生きがいと潤いのある人生を確立し、充実した生活ができると、学ぶことの大切さを強調しております。

歴史上の先輩達は、「生活の知恵」「それぞれの技・技術」「和の心・和の精神」「歴史」「文化」など、いろいろな分野においての達人でもあります。達人になるためには、それなりの精進、努力、時間や忍耐が必要だったと思います。かなり苦勞をされたことだと思います。

そして、今なお、学び続け、自分を磨き上げようと修行を積んでいらっしゃる先輩達もたくさんおります。そんな姿に心から感動し、心から敬服したいと思います。

そういう方の力を是非、市民一人一人に広げ、「ふるさとの良さや誇り」を感じ取ってくれる人を一人でも多く育て、増やしてほしいものだと思います。

にかほ市の社会教育並びに生涯教育の基本理念は、『生涯続ける「学び」で生きがいづくり・地域づくりを実践』であります。つまり、行政と地域社会、地域住民が連携を深め、様々なライフステージにおいて学び続けることができる学習の機会の充実と環境整備を進めていくことであります。

具体的には、

- ①子どもから大人までみんなが「学ぶ」事業
- ②多くの人と出会い「ふれあう」事業
- ③学習成果を「活かす」事業

などを展開し、市民の皆さんの各成長段階ごとの努力や成果、課題等に視点を当て、地域全体の問題として、「生きがいづくり」や「地域づくり」の充実を図っていくための条件整備に努めていくことであります。

そうした視点を大事にしながら、「第2次にかほ市総合発展計画」（後期基本計画）の下に、生涯学習及び社会教育分野における施策の指針を定めるため、第4次の計画となる「生涯学習・社会教育計画」を、この度策定いたしました。

計画に掲げる各分野の目標実現に当たっては、私たちの地域がもつ豊かな自然や歴史、文化等の多様な資源を最大限活用することが重要であるとともに、地域の優れた人材をはじめ、広く市民の方々から積極的に生涯学習並びに社会教育の活動へ参加していただくことを、心から期待いたします。

終わりに、本計画策定に当たり、熱心にご審議いただいた「にかほ市生涯学習・社会教育計画策定委員会」の皆様をはじめ、意向調査にご協力いただいた市民の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

令和5年3月

目 次

第1章 策定にあたって

1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけと期間	1

第2章 現状と課題

1 生涯学習・社会教育の現状	2
2 第3次計画による現状と課題	3

第3章 基本理念、基本方針及び施策

1 市総合発展計画における生涯学習・社会教育の方針	8
2 第4次計画における方針	9
3 施策の体系	10

第4章 推進体制と進捗管理

1 計画の推進体制	14
2 計画の進捗管理	14

資料編

1 市民意識調査から	15
回答者からのコメント（抜粋）	18

第1章 策定にあたって

1 計画策定の趣旨

社会教育計画は、生涯学習の理念^{※1}の実現をめざし、社会教育^{※2}に関する施策を体系的かつ計画的に推進するために策定するものです。本市においては平成20年3月に計画期間5年の「にかほ市社会教育中期計画」を策定し、以来、5年ごとに見直しを行ってきました。第3次計画が令和4年度末で終了することから、国や県の動向および第3次計画の取組の評価と課題を踏まえながら、今後5年間の社会教育行政の基本的方向性を定める「第4次にかほ市生涯学習・社会教育計画」を策定するものです。

2 計画の位置づけと期間

この計画は、「第2次にかほ市総合発展計画」を上位計画とする個別計画です。総合発展計画の基本構想における基本理念を具体的に推進する分野別行動計画として策定し、今後の生涯学習・社会教育施策の指針とします。

総合発展 計画	基本構想 (H19～H28)		基本構想 (H29～R8)	
	前期基本計画 (H19～H23)	後期基本計画 (H24～H28)	前期基本計画 (H29～R3)	後期基本計画 (R4～R8)
生涯学習・ 社会教育 計画	第1次計画 (H20～H24)	第2次計画 (H25～H29)	第3次計画 (H30～R4)	第4次計画 (R5～R9)

※1 生涯学習の理念（教育基本法第3条）

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

※2 社会教育（社会教育法第2条）

学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）

第2章 現状と課題

1 生涯学習・社会教育の現状

(1) 国の動向（令和3年度文部科学白書より）

「人生100年時代」、「超スマート社会（Society 5.0）^{※3}」に向けて社会が大きな転換期を迎える中であって、生涯学習の重要性は一層高まっています。文部科学省では、国民一人一人が生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供、学習した成果が適切に評価され、それを生かして様々な分野で活動できるようにするための仕組みづくりなど、生涯学習社会の実現のための取組を進めています。

(2) 秋田県の動向（新秋田元気創造プラン 2022～2025年度より）

秋田県では県政運営の指針として、令和4年度に「新秋田元気創造プラン」（推進期間4年間）を策定し、6つの重点戦略に基づいて施策・事業を進めています。

教育分野に関する「教育・人づくり戦略」では「秋田県教育の基本である『ふるさと教育』を一層推進しながら、心豊かで郷土愛に満ち、高い志と公共の精神を持って未来を力強く切り拓く人づくり」をねらいとし、“4年後の姿”として6つの目指す姿を掲げています。

【6つの目指す姿】

- 1 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成
- 2 確かな学力の育成
- 3 グローバル社会で活躍できる人材の育成
- 4 豊かな心と健やかな体の育成
- 5 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化
- 6 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

※3 超スマート社会（Society5.0）

仮想空間と現実空間を高度に融合し、AIやロボットなどの技術を取り入れて人々が生き活きと活動できる社会のこと。

『必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会のさまざまなニーズにきめ細やかに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といったさまざまな違いを乗り越え、生き活きと快適に暮らすことのできる社会』

（内閣府第5期科学技術基本計画による、超スマート社会の定義）

2 第3次計画による現状と課題

第3次にかほ市生涯学習・社会教育計画（平成30年度～令和4年度）を実施した結果について、基本方針毎に現状と課題を掲載しました。

基本方針1 生涯各期における学習の推進 (1) 乳幼児教育・家庭教育支援	
現状	○子育てに関する情報提供や相談体制づくりのため、平成29年度に家庭教育支援チームを立ち上げました。子育て中の方が気軽に立ち寄り、チーム員や他の子育て中の方と情報交換できる場として毎月10日に「ほんわっカフェ」を開催しています。 ○市内の子育て関連情報をまとめた「まんまある通信」を毎月発行し、関連施設や子育てサークル「まんまある」会員に配布するとともに、市ホームページやSNSも利用して広く周知をはかっています。（生涯学習課）
課題	○多忙な子育て中であっても生涯学習に取り組むことができるように、個々の学びの要望に配慮した学習の機会を提供し、また参加してもらうことで他の子育て中の方や地域の人と交流できる環境を整備する必要があります。 ○保健師による赤ちゃん訪問や就学時健診、文化祭等を利用して家庭教育支援チームや子育てサークルのPR活動、SNSによる情報発信をしているものの、認知度はまだ低いと思われます。周知方法も含め、求められている支援の内容等を再考する必要があります。（生涯学習課）

※第4次計画では、「青少年教育」に統合

基本方針1 生涯各期における学習の推進 (2) 少年教育 (3) 青年教育	
現状	○子どもたちが安心・安全に活動できる場として放課後子ども教室や親子ふれあい体験教室等を開催し、地域人材との交流や学童クラブ等と連携しながら様々な体験学習や野外活動等を実施しています。 ○平成31年1月ににかほ市が連携協定を締結した仁賀保高等学校には、地域づくりに非常に熱心なサークルがあり、小中学生の活動や文化祭等の事業に参画してもらっています。（生涯学習課） ○児童・生徒の理数教育の推進を目的として、各種事業を実施しています。（フェライト子ども科学館）

現状	○白瀬蠹に関する理解を深めるため、白瀬南極探検隊記念館による「出前授業」、青少年育成にかほ市民会議による「郷土の偉人に学ぶ作文コンクール」、にかほ市・白瀬南極探検100周年記念会・白瀬蠹顕彰会による「白瀬中尉をしのぶ集い」を行い、小学生、中学生、一般市民が関わりを持てるようにしています。 (白瀬南極探検隊記念館) ○学校の授業としての「地域探検」や「職場体験学習」は、地域の特性や郷土調べをする機会となっています。 (図書館こぴあ)
課題	○少年期から青年期にかけて郷土への理解と愛着を深めることが持続する地域づくりに必要であることから、高校生が地域に密着した生涯学習に興味を持って参画できるきっかけを仕掛ける必要があります。 (生涯学習課) ○参加者を増やすため、理数系が苦手と考えている児童・生徒でも参加しやすい事業を実施する必要があります。 (フェライト子ども科学館) ○「出前授業」はキャリア教育の一環にもなっていますが、市内全小・中学校での実施には至っていないため、更なる働きかけが必要です。活動団体による白瀬蠹に関する事業や行事については、学校行事との調整を図るなどさまざまな対策を講じ、柔軟に対応していく必要があります。 (白瀬南極探検隊記念館) ○授業の調べもの以外でも、図書館に來れば郷土の歴史や偉人について勉強できる本をはじめとして、学習に役立つ資料がたくさんあることを周知する必要があります。 (図書館こぴあ)

基本方針1 生涯各期における学習の推進 (4) 成人教育	
現状	○成人期だけでなく全ての世代向けに生涯学習の機会を提供し、市民と行政を繋いで学びを共有する出前講座を企画しています。 (生涯学習課) ○生涯を通して科学に興味を持ってもらうため、専門的な講座を実施しています。 (フェライト子ども科学館) ○白瀬・南極フェア実行委員会、白瀬南極探検100周年記念会、白瀬蠹顕彰会と連携を図り、白瀬蠹に関する各種事業を進めています。 (白瀬南極探検隊記念館)

課題	○市民の学習ニーズや生活スタイルに配慮した生涯学習の機会を提供して、支援強化する必要があります。 ○“だれでも、どこでも、いつでも” 障がいがあっても参加できるような講座を企画し、参画してもらえるような配慮と呼びかけが必要です。 (生涯学習課) ○幅広い年齢層に参加してもらうため、参加者の少ない若年層にも参加してもらえるような事業を実施する必要があります。 (フェライト子ども科学館) ○事業内容の見直しを図りながら、若い世代が興味を持ち継承していけるような働きかけを進めていく必要があります。 (白瀬南極探検隊記念館)
----	---

基本方針1 生涯各期における学習の推進 (5) 高齢者教育	
現状	○3地域で開催している高齢者学級を中心に、楽しく学ぶ生きがいづくりの機会を提供しています。 ○仕事を続けるなどの生活スタイルの多様化によって、生涯学習事業の参加を難しくしています(参加者の固定化、新規参加者の伸び悩み)。 (生涯学習課)
課題	○従来のいわゆる高齢者向け学習メニューにとらわれることなく、現代の生活スタイル、ニーズに対応した学習メニューを構築する必要があります。併せて、学習環境と情報を充実させ、提供する必要があります。 (生涯学習課)

基本方針2 読書普及活動の推進	
現状	○新たな資料の登録にインターネットを活用することで、正確な資料情報を提供することができています。 ○広報、SNSを通じて、資料や館内での展示コーナーを紹介し、来館を促進しています。 ○読書感想文募集事業には学校と連携し、図書室、市立図書館において課題図書の充実を図り環境を整備しています。

現状	○読み聞かせボランティアによる読み聞かせを開催し、親子で本を楽しむきっかけづくりを行っています。 ○読み聞かせボランティアのスキルアップのため講習会を行っています。 (図書館こぴあ)
課題	○情報の変化に対応した資料の整備と整理を行い、サービスの充実を構築する必要があります。 ○電子書籍が手軽に利用できるなかで、図書館への期待感を高めるような資料の展示内容、レファレンス※4対応を充実させる必要があります。 ○読書感想文募集において応募者数の減少が見受けられるため、募集内容や周知の仕方を検討する必要があります。 ○読み聞かせを継続していくには、次世代のボランティアを募り育成していくことが必要となります。 (図書館こぴあ)

※ 4 レファレンス

図書館が行う利用者サービスの一つで、必要とする文献や参考図書についての情報を教えたり検索に協力したりするもの。

基本方針 3 芸術文化の振興	
現状	○市民が芸術文化活動するための場として、市施設を提供しています。また幅広い世代の市民がより多く参加できる市民文化祭での活動発表の機会を企画しています。 ○芸術文化団体への支援は継続していますが、メンバーの高齢化や固定化が進み、活動の停滞や組織の解散もあり減少に歯止めがかからない状況です。 (生涯学習課) ○市内唯一の音響・照明設備を備える音楽ホールを有することから文化活動の拠点として施設の整備を図っています。 ○コロナ禍にあっても、芸術文化活動ができる環境の整備を図っています。 (仁賀保勤労青少年ホーム)
課題	○幅広い世代の市民が芸術文化活動に親しみ参加できるよう、より工夫を凝らした事業の企画と情報発信の必要があります。 ○子どもたちをはじめ若い世代が芸術に触れる機会を創出して、芸術文化活動に参加する人口を増やす必要があります。

課題	○市民の一体感を文化面から深めるために、芸術文化活動の場や作品に触れる場を集約し、市民が一堂に会することができる場の整備に関する検討が望まれます。 (生涯学習課) ○芸術文化活動団体の高齢化により発表機会が減少してきています。 ○芸術文化を体験する機会の創出を図る必要があります。 (仁賀保勤労青少年ホーム)
----	---

基本方針 4 文化財保護の推進	
現状	○貴重な郷土資料や文化財全般の調査及び現状把握を行っています。特に令和2年度からは獅子ヶ鼻湿原(国指定天然記念物)の調査と現状把握を実施しています。 ○「九十九島の松をまもる会」や「山根館を守る会」など多くの団体と協力し、史跡等の維持管理に努めることにより文化財への愛着や保護意識の啓発を図っています。 ○毎年9月に市内の伝承芸能保存団体が出演し、鳥海山伝承芸能祭を開催しています。令和2～4年度はコロナ禍のため、実施できませんでした。 ○伝承芸能保存団体連絡協議会を毎年開催し、情報交換や各団体・学校・地域などと連携した公開活動・後継者育成に取り組んでいます。 (文化財保護課)
課題	○国指定の史跡名勝天然記念物については、保存活用計画を策定し維持管理を行い、活用を図っていく必要があります。 ○少子高齢化、人口減少、社会の広域・多様化等により各地域の伝承芸能や年中行事が後継者不足で継続が難しい状況にありますが、地道に、伝承芸能保存団体連絡協議会などを通じた情報交換や公開の場の提供などを継続する必要があります。 ○文化財保護団体・ボランティア団体においても近年高齢化が著しく、活動内容が縮小傾向にあります。ジオパークなど新たな保護団体との協力も強く進めていく必要があります。 ○貴重な考古資料等はデジタル化を図っていくほか、収集資料については保管場所や資料目録の整備を行い、利活用を前提とした資料の収集整理を行っていく必要があります。 (文化財保護課)

第3章

基本理念、基本方針及び施策

1 市総合発展計画における生涯学習・社会教育の方針

市の最上位計画に位置付けられる「第2次にかほ市総合発展計画」において掲げる「基本理念」とその基本理念に基づく「まちづくりの方針」です。「まちづくりの方針」⑤が生涯学習・社会教育に関連する項目で、重点目標等は次のとおりです。

◆市総合発展計画における「基本理念」

夢あるまち 豊かなまち 元気なまち 住みたいまち にかほ

◆基本理念に基づく「まちづくりの方針」

- ①快適に暮らせるまち ②子育てしやすいまち ③高齢者が元気なまち
- ④若者に魅力のあるまち **⑤人と文化が豊かなまち** ⑥稼ぐ力が強いまち
- ⑦市民と行政が協働でつながるまち

◆まちづくりの方針「⑤人と文化が豊かなまち」における重点目標等

【重点目標】	【主要施策】
多様な学習機会の提供	生涯学習の推進と充実
	芸術文化の振興と支援
	図書館の充実
	「フェライト子ども科学館」「白瀬南極探検隊記念館」の充実
みんなが楽しめるスポーツの振興	生涯スポーツの振興
	競技スポーツの推進
伝統文化の保存・継承	郷土資料の保存・継承
	史跡・名勝・天然記念物の保護・管理
	伝承芸能・年中行事の保存・継承

※スポーツの振興に関しては、スポーツ振興法に基づき、市総合発展計画を上位計画とする分野別行動計画である「にかほ市スポーツ振興計画」が策定済であることから、本計画では言及しないものとします。

2 第4次計画における方針

本計画では、にかほ市総合発展計画に掲げる目標の実現に向けて、第3次計画の基本理念を継承し、また次の4つの基本方針を柱として、生涯学習・社会教育活動を推進します。

◇第4次計画における「基本理念」

生涯続ける「学び」で生きがいつくり・地域づくりを実践

◇4つの基本方針と各重点推進目標

1 生涯各期における学習の推進

(1) 乳幼児教育・家庭教育

- 1) 家庭教育等に関する情報提供と相談の場の提供
- 2) 子育て中の親同士の交流促進
- 3) 子育てサークル活動の成果紹介による加入の促進

(2) 青少年教育

- 1) 学校・家庭・地域連携推進事業の推進
- 2) ICT(情報通信技術)機器の健全利用推進
- 3) 郷土への理解を深め郷土愛を育む
- 4) 高校生等が参加する場づくり

(3) 成人教育

- 1) 地域づくりを担う人材の育成
- 2) 社会の変化や課題の学習機会の提供～大学等の高等教育機関との連携～
- 3) 高齢期に備える暮らしや趣味につながる学習機会の提供

(4) 高齢者教育

- 1) 人・地域との関わりを持ち続ける学習機会の提供
- 2) サロン事業との連携による生きがいつくり

2 読書普及活動の推進

- 1) 明るい雰囲気の開かれた「知の拠点」づくり
- 2) 施設体制の充実と学校、関係機関との連携
- 3) 高齢者の読書活動の推進
- 4) 子どもの読書活動の推進
- 5) 郷土資料の統括的な収蔵と閲覧対応

3 芸術文化の振興

- 1) 鑑賞・体験機会の提供
- 2) 活動団体への支援
- 3) 普及・指導するアウトリーチ※⁵活動
- 4) 生涯学習環境の整備

※ 5 アウトリーチ

主に公的機関や公共的文化施設などが行う地域等への出張サービス

4 文化財保護の推進

- 1) 文化財の保護と活用・調査
- 2) 郷土資料の収集と企画展等の開催
- 3) 郷土学習の推進

3 施策の体系

基本理念	基本方針	重点推進目標	具体的な施策	事業名
生涯続ける「学び」で生きがいづくり・地域づくりを实践	1 生涯各期における学習の推進	(1) 乳幼児教育・家庭教育 1) 家庭教育等に関する情報提供と相談の場の提供 2) 子育て中の親同士の交流促進 3) 子育てサークル活動の成果紹介による加入の促進	①保護者のまなびのための情報提供と相談対応 ②認定こども園・保育園・学童クラブ・学校・公民館・関係機関との連携 ③子育て交流会及び乳幼児教育講座等の開催	1 家庭教育支援チーム事業 2 子育てサークル育成事業
		(2) 青少年教育 1) 学校・家庭・地域連携推進事業の推進 2) ICT（情報通信技術）機器の健全利用促進 3) 郷土への理解を深め郷土愛を育む 4) 高校生等が参加する場づくり	①学校支援活動 ②放課後子ども教室等の開催 ③親子参加型体験教室の開催 ④白瀬南極探検隊記念館、フェライト子ども科学館のセカンドスクールの活用と市内社会教育施設（博物館類似施設）及び図書館との連携によるアウトリーチ ^(※5) 活動	3 学校支援活動 4 放課後子ども教室（各公民館） 5 子どものつどい（各公民館） 6 子ども体験活動教室（各公民館） 7 親子ふれあい体験教室 8 地域学講座「出前講座・出前授業」 9 白瀬中尉をしのぶ集い 10 地域学講座「移動実験教室」 11 ジオ学習「科学ウォッチング」 12 秋田県立大学実験教室 13 WRO秋田県中央地区予選会 14 3Dプリンター教室（青少年教育向け） 15 地域学講座に関する文献の提供
		(3) 成人教育 1) 地域づくりを担う人材の育成 2) 社会の変化や課題の学習機会の提供 ～大学等の高等教育機関との連携～ 3) 高齢期に備える暮らしや趣味につながる学習機会の提供	①専門的な教室、教養や趣味講座の開催 ②生活スタイル・ニーズに対応した講座の開催 ③障がいのある方でも参加できる講座の開催 ④市民と行政を繋ぐ講座の充実 ⑤「行動人」育成の支援 ⑥人材バンクの充実と活用 ⑦グループ・サークル活動の支援 ⑧青年リーダーの養成、社会参加の支援 ⑨情報発信強化及び各機関との調整	16 公民館講座 17 サイエンスカフェ 18 3Dプリンター教室（成人教育向け） 19 出前講座 20 学びあいバンク 21 生涯学習奨励員研修 22 青年団体活動支援事業 23 「生涯楽習のすすめ」発刊
		(4) 高齢者教育 1) 人・地域との関わりを持ち続ける学習機会の提供 2) サロン事業との連携による生きがいづくり	①地域活動やボランティア活動への参加促進 ②世代間及び地域住民との交流	24 高齢者学級「むらすぎ学園」 24 高齢者学級「金浦福寿大学」 24 高齢者学級「白寿大学」
	2 読書普及活動の推進	1) 明るい雰囲気の開かれた「知の拠点」づくり 2) 施設体制の充実と学校、関係機関との連携 3) 高齢者の読書活動の推進 4) 子どもの読書活動の推進 5) 郷土資料の統括的な収蔵と閲覧対応	①一般書・専門書・地域資料・辞書・各種視聴覚メディア等資料の整備 ②資料のデータベース化とICTを利用した図書館サービスの向上 ③市民からの相談に応えるレファレンス ^(※4) サービス機能の充実 ④積極的な情報発信とサービスの充実 ⑤学校や関係機関と連携した読書環境の整備と読書活動の推進 ⑥読み聞かせボランティアとの協働による、幅広い層が参加できる行事の開催 ⑦読み聞かせボランティアの支援と育成 ⑧他課との連携による郷土資料の収蔵・閲覧対応	25 図書購入事業 26 資料のデータベース化 27 レファレンス ^(※4) 機能の充実 28 図書館ネットワークの充実 29 移動図書館サービス事業 30 読書感想文募集事業 31 学校図書館との連携 32 おはなし会 33 ブックスタート事業 34 映画上映会 35 読み聞かせボランティアの支援と育成 36 郷土資料の収蔵・閲覧対応業務
		1) 鑑賞・体験機会の提供 2) 活動団体への支援 3) 普及・指導するアウトリーチ ^(※5) 活動 4) 生涯学習環境の整備	①市民文化祭の開催と充実 ②芸術鑑賞会・芸術文化行事の開催及び支援 ③学校等と連携した芸術文化活動の推進 ④芸術文化団体の活動支援・所有器具等の保守管理費助成・団体間の交流促進 ⑤社会教育施設の整備と学習設備の充実	37 市民文化祭 38 奥の細道象潟全国俳句大会 39 にかほ市文化講演会 40 日本海に響け!太鼓の祭典 41 クラシック音楽をあなたと 42 ホーム自主事業公演 43 音楽ホール月例コンサート事業 44 ピアノ一般無料開放事業 45 小中学生向け芸術体験事業（国県補助） 46 芸術文化団体支援 47 文化団体備品整備費助成金 48 施設の整備と学習設備・展示設備の充実
	3 芸術文化の振興			
	4 文化財保護の推進	1) 文化財の保護と活用・調査 2) 郷土資料の収集と企画展等の開催 3) 郷土学習の推進	①文化財の調査・研究・収集・保存・活用 ②学校や地域住民への講座・郷土学習・企画展示・地域学の推進 ③伝承芸能の保存と後継者育成	49 郷土資料の調査・収集・保存・活用 50 遺跡・埋蔵文化財の調査 51 下刈り等の定期的な保存管理 52 文化財保護団体の育成と協働作業 53 地域特性を活かす企画展の開催 54 池田修三作品の管理と作品展の開催 55 市内の小中学校・高校と連携した郷土学習の推進 56 郷土史市民講座・古文書解読講座の開催 57 伝承芸能保存団体連絡協議会との連携強化と後継者育成 58 鳥海山伝承芸能祭の開催

3 施策の体系（再掲、担当課名入り）

基本方針	重点推進目標		具体的な施策	事業名		担当課
1 生涯各期における学習の推進	(1) 乳幼児教育・家庭教育	1) 家庭教育等に関する情報提供と相談の場の提供 2) 子育て中の親同士の交流促進 3) 子育てサークル活動の成果紹介による加入の促進	①保護者のまなびのための情報提供と相談対応 ②認定こども園・保育園・学童クラブ・学校・公民館・関係機関との連携 ③子育て交流会及び乳幼児教育講座等の開催	1	家庭教育支援チーム事業	生涯学習課
				2	子育てサークル育成事業	生涯学習課
	(2) 青少年教育	1) 学校・家庭・地域連携推進事業の推進 2) ICT(情報通信技術)機器の健全利用促進 3) 郷土への理解を深め郷土愛を育む 4) 高校生等が参加する場づくり	①学校支援活動 ②放課後子ども教室等の開催 			

基本方針	重点推進目標		具体的な施策	事業名		担当課		
1 生涯各期における学習の推進	(3) 成人教育	1) 地域づくりを担う人材の育成 2) 社会の変化や課題の学習機会の提供～大学等の高等教育機関との連携～ 3) 高齢期に備える暮らしや趣味につながる学習機会の提供	④市民と行政を繋ぐ講座の充実 ⑤「行動人」育成の支援 ⑥人材バンクの充実と活用 ⑦グループ・サークル活動の支援	19	出前講座	生涯学習課		
				20	学びあいバンク	生涯学習課		
				21	生涯学習奨励員研修	生涯学習課		
			⑧青年リーダーの養成、社会参加の支援	22	青年団体活動支援事業	生涯学習課		
			⑨情報発信強化及び各機関との調整	23	「生涯学習のすすめ」発刊	生涯学習課		
	(4) 高齢者教育	1) 人・地域との関わりを持ち続ける学習機会の提供 2) サロン事業との連携による生きがいづくり	①地域活動やボランティア活動への参加促進 ②世代間及び地域住民との交流	24	高齢者学級「むらすぎ学園」	仁賀保公民館		
				24	高齢者学級「金浦福寿大学」	金浦公民館		
				24	高齢者学級「白寿大学」	象潟公民館		
	2 読書普及活動の推進	1) 明るい雰囲気の開かれた「知の拠点」づくり 2) 施設体制の充実と学校、関係機関との連携 3) 高齢者の読書活動の推進 4) 子どもの読書活動の推進 5) 郷土資料の統括的な収蔵と閲覧対応	①一般書・専門書・地域資料・辞書・各種視聴覚メディア等資料の整備 ②資料のデータベース化とICTを利用した図書館サービスの向上 ③市民からの相談に応えるレファレンス(※4)サービス機能の充実 ④積極的な情報発信とサービスの充実 ⑤学校や関係機関と連携した読書環境の整備と読書活動の推進 ⑥読み聞かせボランティアとの協働による、幅広い層が参加できる行事の開催 ⑦読み聞かせボランティアの支援と育成 ⑧他課との連携による郷土資料の収蔵・閲覧対応	25	図書購入事業	図書館		
26				資料のデータベース化	図書館			
27				レファレンス(※4)機能の充実	図書館			
28				図書館ネットワークの充実	図書館			
				29	移動図書館サービス事業	図書館		
30				読書感想文募集事業	図書館			
31				学校図書館との連携	図書館			
32				おはなし会	図書館			
				33	ブックスタート事業	図書館		
				34	映画上映会	図書館		
35				読み聞かせボランティアの支援と育成	図書館			
36				郷土資料の収蔵・閲覧対応業務	図書館			
3 芸術文化の振興				1) 鑑賞・体験機会の提供 2) 活動団体への支援 3) 普及・指導するアウトリーチ(※5)活動 4) 生涯学習環境の整備	①市民文化祭の開催と充実 ②芸術鑑賞会・芸術文化行事の開催及び支援	37	市民文化祭	生涯学習課
						38	奥の細道象潟全国俳句大会	生涯学習課
	39	にかほ市文化講演会	生涯学習課					
	40	日本海に響け!太鼓の祭典	生涯学習課					
	41	クラシック音楽をあなたと	生涯学習課					
	42	ホーム自主事業公演	仁賀保勤労青少年ホーム					
	43	音楽ホール月例コンサート事業	仁賀保勤労青少年ホーム					
	44	ピアノ一般無料開放事業	仁賀保勤労青少年ホーム					

基本方針	重点推進目標	具体的な施策	事業名		担当課
3 芸術文化の振興	1) 鑑賞・体験機会の提供 2) 活動団体への支援 3) 普及・指導するアウトリーチ ^(※5) 活動 4) 生涯学習環境の整備	③学校等と連携した芸術文化活動の推進	45	小中学生向け芸術体験事業 (国県補助)	生涯学習課
		④芸術文化団体の活動支援・所有器具等の保守管理費助成・団体間の交流促進	46	芸術文化団体支援	生涯学習課
			47	文化団体備品整備費助成金	生涯学習課
		⑤社会教育施設の整備と学習設備の充実	48	施設の整備と学習設備・展示設備の充実 (建築遺産としての予防保全型) (維持管理及び長寿命化を含む)	仁賀保公民館
					金浦公民館
					象潟公民館
					仁賀保勤労青少年ホーム
					フェライト子ども科学館
					白瀬南極探検隊記念館
					図書館
					文化財保護課
4 文化財保護の推進	1) 文化財の保護と活用・調査 2) 郷土資料の収集と企画展等の開催 3) 郷土学習の推進	①文化財の調査・研究・収集・保存・活用	49	郷土資料の調査・収集・保存・活用	文化財保護課
			50	遺跡・埋蔵文化財の調査	文化財保護課
			51	下刈り等の定期的な保存管理	文化財保護課
			52	文化財保護団体の育成と協働作業	文化財保護課
		②学校や地域住民への講座・郷土学習・企画展示・地域学の推進	53	地域特性を活かす企画展の開催	文化財保護課
			54	池田修三作品の管理と作品展の開催	文化財保護課
			55	市内の小中学校・高校と連携した郷土学習の推進	文化財保護課
			56	郷土史市民講座・古文書解読講座の開催	文化財保護課
		③伝承芸能の保存と後継者育成	57	伝承芸能保存団体連絡協議会との連携強化と後継者育成	文化財保護課
			58	鳥海山伝承芸能祭の開催	文化財保護課

第4章 推進体制と進捗管理

1 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、市民、学校、家庭、地域、各種団体、企業等と連携しながら取り組む必要があります。

このことから、よりよい地域社会の実現に向けた施策や事業を推進するため、積極的に市民参加型の事業展開を図ります。

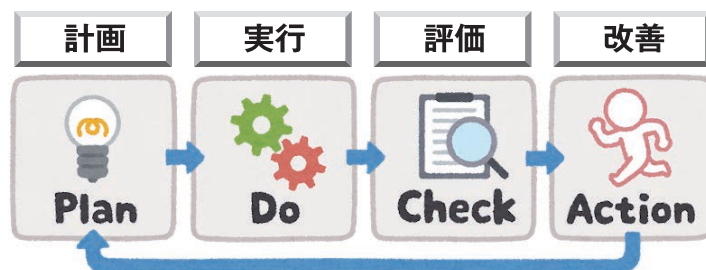
2 計画の進捗管理

計画の進捗状況については、事業の実施状況を毎年度調査し、にかほ市社会教育委員の会議において、計画の進捗状況を評価し、施策の点検・見直しを図りながら計画の推進に取り組みます。

また、施策の効果を確認し、改善していくため、「PDCAサイクル」の中で、施策・事業の実効性を高めます。

PDCAサイクル

- ▶ P l a n（計画）
…目標に沿った事業か、実績や将来の予測などをもとにして事業を計画する。
- ▶ D o（実行）
…計画に沿って事業を行う。
- ▶ C h e c k（評価）
…事業実施が計画に沿っているか、期待される効果はあったか等を評価する。
- ▶ A c t i o n（改善）
…事業実施が計画に沿っていない部分を調べて改善をする。



資料編

1 市民意識調査から

〔アンケート実施方法〕

期 間：令和3年10月15日～令和3年12月28日

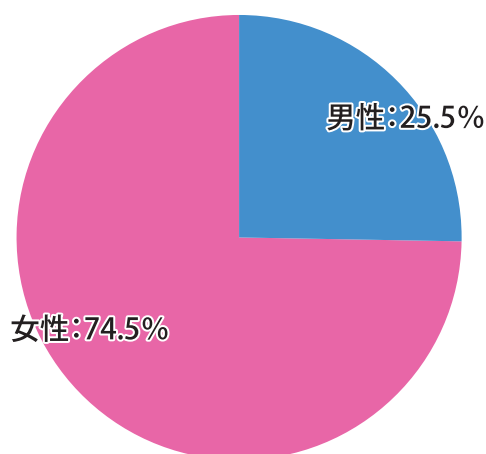
調査方法：紙媒体アンケート用紙を市広報にて全戸配布（QRコードつき）

回収方法：市内公共施設回収ボックスに投函、またはQRコード読み取りによる電子解答

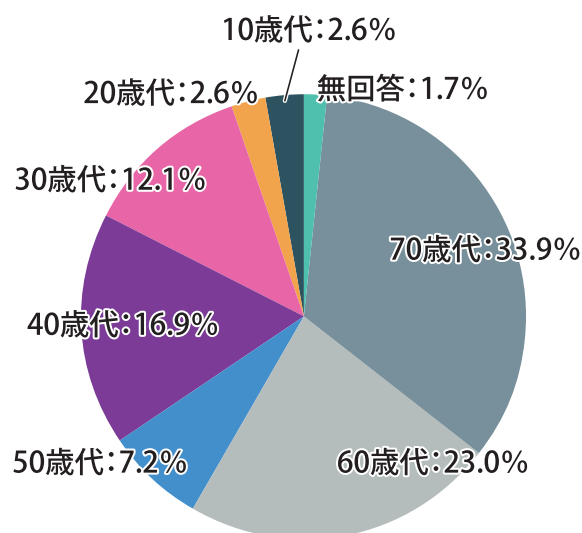
集 計 数：770（紙 683、電子 87） 令和4年1月集計

問1：回答者について

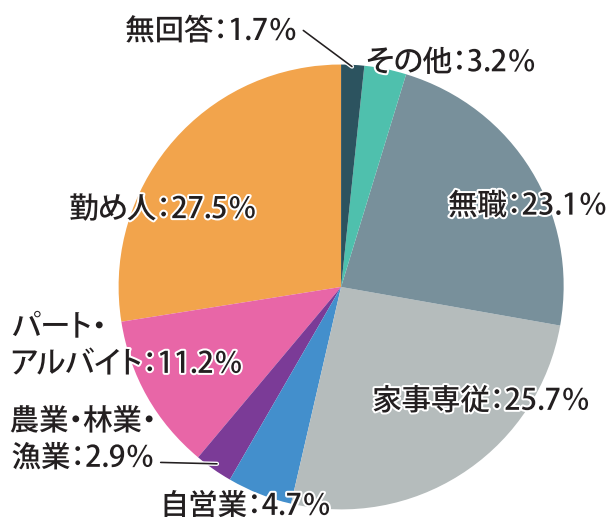
回答者の性別内訳



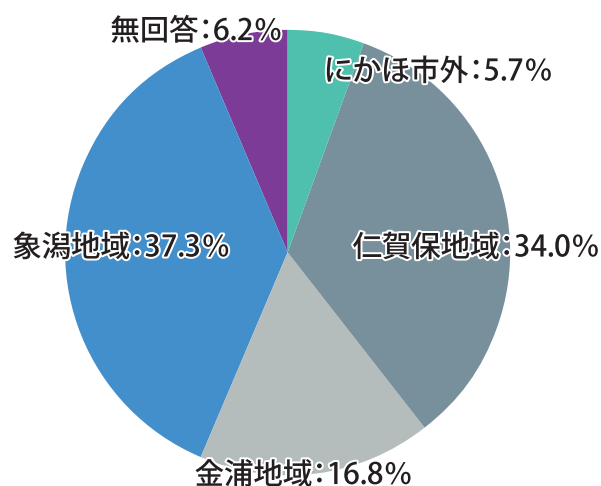
回答者の年代別内訳



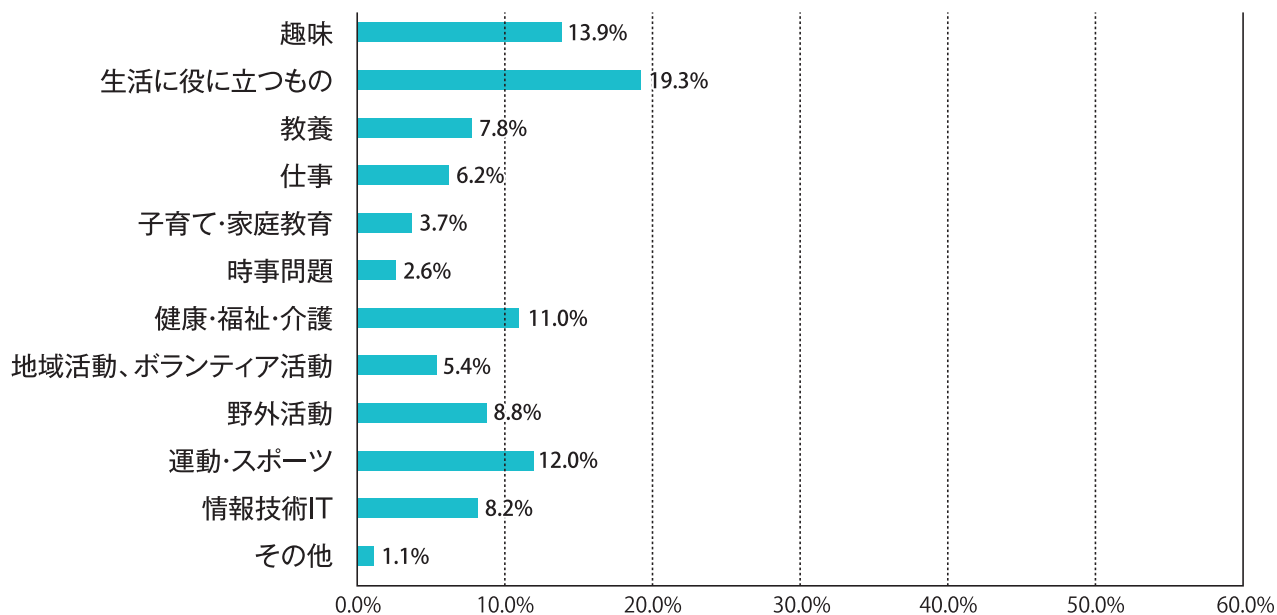
回答者の職業等内訳



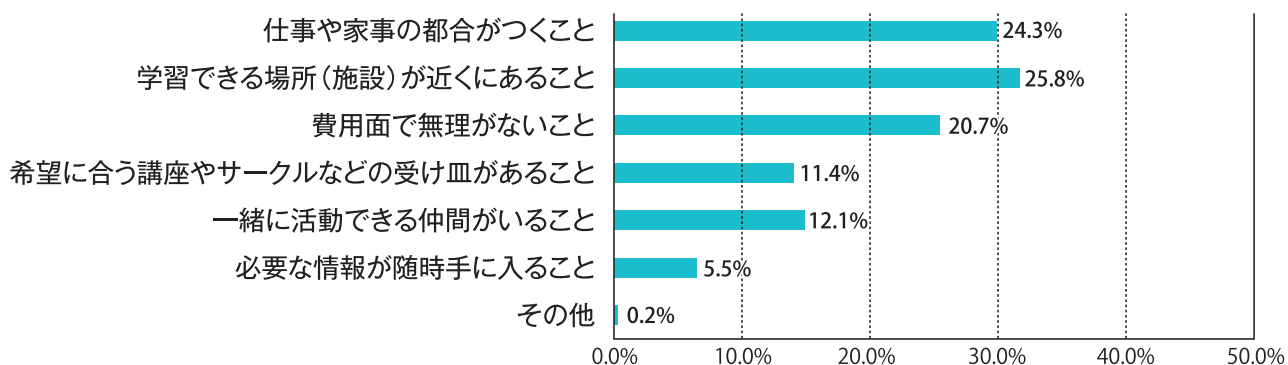
回答者居住地域



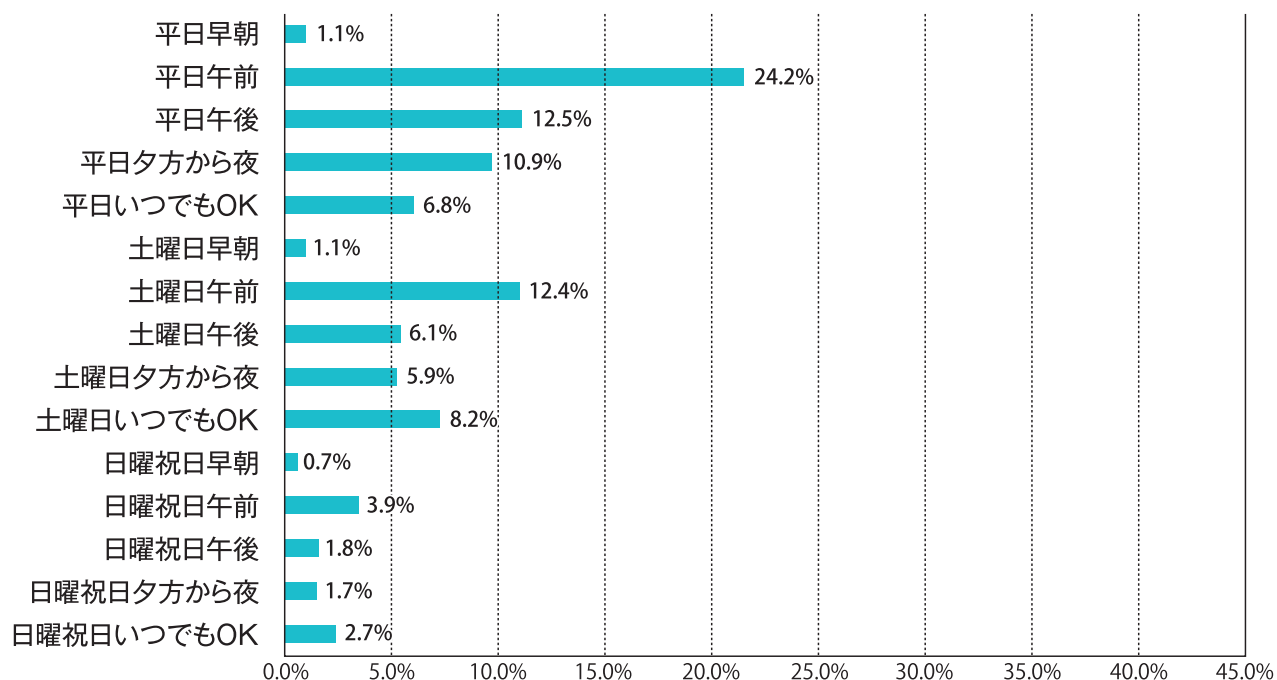
問2：これから“学びたいこと”（3つまで回答：総数1,743）



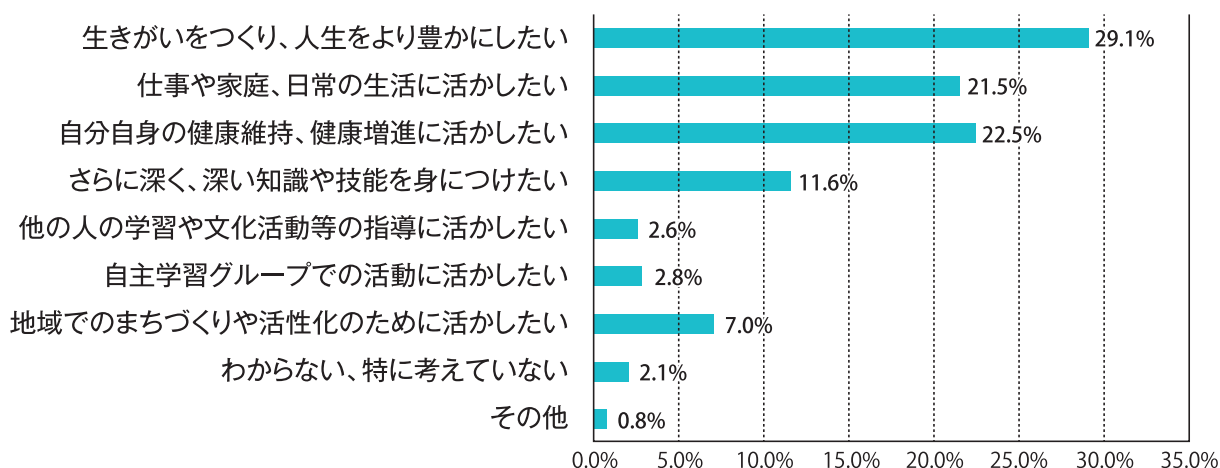
問3：学習しやすい条件（2つまで回答：総数1,357）



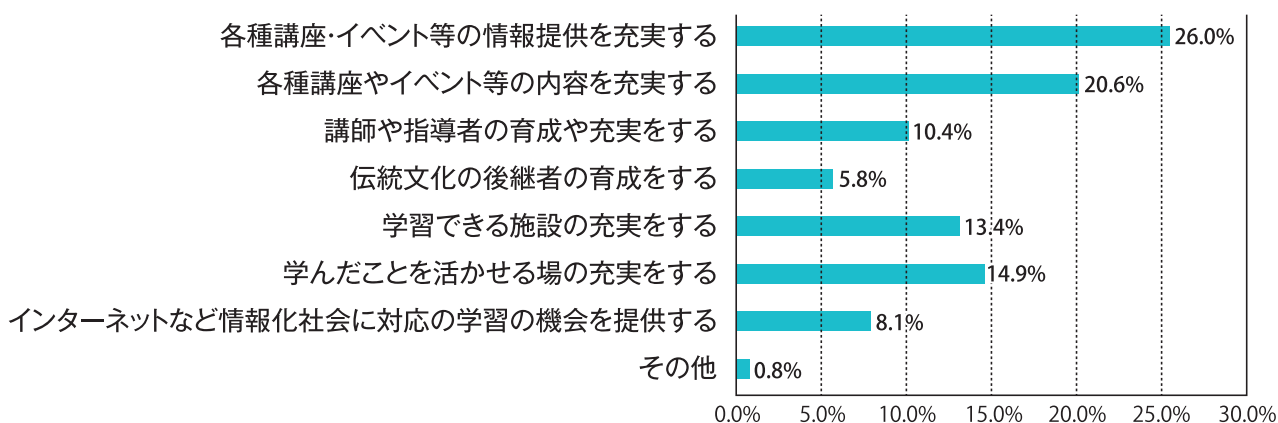
問4：活動しやすい時間（2つまで回答：総数1,215）



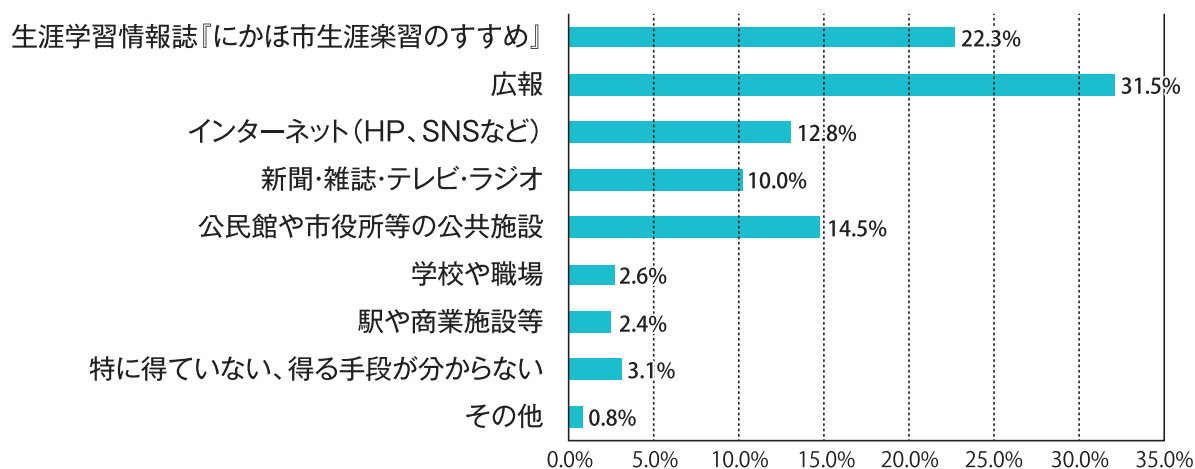
問5：知識・技能・経験の活用について（複数回答：総数1,538）



問6：充実させるために必要なこと（2つまで回答：総数1,118）



問7：生涯学習情報の入手方法（複数回答：総数1,466）



回答者からのコメント（抜粋）

- 人は生涯学習する意欲は持ち続けなければならないと思います。他人とつながったり知識を深める事は心が豊かになります。若い人たちが、もっともっと経済的にも余裕を持てる世の中にしてもらって学習してもらいたいと思います。
- 各公民館でいろいろ考えてくださっているが、メンバーや内容が固定化しているように感じる。やってみたいと思える企画をお願いしたい。
- 周知徹底の方法を考え、より多くの方に参加していただける事業の実施をお願いしたい。
- 高齢になり車の運転ができないので、徒歩、コミュニティバス利用できたりと開催会場まで行けるような開催をお願いしたい。
- 学習した技術や知識を役立てる場所や機会をつくってほしい。会得した技術や知識を他の人に役立てられることで会得するだけでなく自分のやりがいにつながると思います。
- 自分のやりたいことが、日・時間・内容が合えばいろいろ参加してみたい。
- 『にかほ市生涯学（楽）習のすすめ』の一層の充実を希望します。長い間の定番講座に加え、新しいメニューが加わることを期待いたします。新しい講座が人気になれば、『生涯学（楽）習のすすめ』の注目度も高いものになると思います。
- 講座の具体的な内容、趣旨、目的等の情報をHPか『生涯学（楽）習のすすめ』などに掲載してほしい。
- 専門分野での知識を持っている市民がいるはず、講師を広く募集してはどうでしょうか。
- 講師、指導者の育成をお願いしたい。
- 時間と曜日が合わない、フルタイムで働いて、幼い子どもがいると講座に参加できない。
- 平日の夕方から夜で何か企画してほしい。
- コロナ禍の今日ですが、子どもたちが生き生きとスポーツ学習ができる場が増えるといいなあとと思います。
- 仁賀保だけでなく金浦、象潟それぞれにトレーニングルームを作してほしい。
- 生涯学習でもたくさんの地域の人々との交流もでき、講演でも学ばさせていただき、人生の手助けになっております。
- 市からの案内だけでなく、市民の声を載せるページを設けてはどうでしょうか。
- 仕事が終わってからでも行ける時間にしてほしい。
- 生涯現役として学び続けたいと強く思います。高齢者も子どもと大人と一緒に議論する場があれば…
- 子どもと一緒にできて楽しめる内容の生涯学習講座があると嬉しい。
- 行政主導ではなく若い地域プレーヤーが講師を務め積極的に発信することで興味をもってもらいきっかけになると思います。

【希望したい講座・内容】

○池田修三氏切り絵教室 ○組子教室 ○野菜、花づくり教室 ○スマホ教室 ○マインクラフト（プログラミング教室） ○クリップスタジオ（作画アプリ） ○自然観察 ○県内及び鳥海山地層の成り立ち ○にかほ市史 ○神功皇后 ○西施 ○手品 ○家庭で使わなくなったピアノ大人発表会 ○橋本五郎氏講演会 ○星の観察 ○ウォーキング ○メイク教室 ○テーブルマナー教室（大人向けドレスコート） ○洋服着こなし ○時短節約術 ○プロお掃除術 ○若者向けヘアメイク ○zoomの使い方 ○YoutubeのUP方法 ○民謡 ○三味線 ○尺八 ○DIY ○ガーデニング ○山菜きのこ採り ○釣り ○日本財政 ○環境（気候） ○SDGs ○財産管理 ○薬

にかほ市生涯学習・社会教育計画

【令和 5 年度～令和 9 年度】

発行 にかほ市教育委員会 令和 5 年 3 月

編集 にかほ市教育委員会 生涯学習課

〒018-0311 秋田県にかほ市金浦字南金浦 49-2

TEL 0184-38-2171 Fax 0184-38-4925